

講義コード	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	中国語Ⅰ					第1期
履修前提条件					備考	
授業の目的	この授業は、初めて中国語を学ぶ人を対象とする入門初級科目であり、発音と文法の基礎を中心に学びます。中国語入門の段階で最も重要な点は、中国語の発音とその表記法（ピンイン＝中国語のローマ字表記法）を習得することです。漢字を知っている日本人は、視覚的な漢字の意義やニュアンスに依存し、表面的な意味を理解して簡単に分かった気持ちになりがちですが、言葉は発音をしっかりと身に付けて初めて、コミュニケーションに役立てることができます。中国語の四つのリズム（四声）や日本語にはない発音を、しっかり体で覚えること、および中国語の基礎的な文法（名詞、形容詞、動詞の各主述文）構造を学び、言葉の語順に習熟することを目的とします。この授業は日本人の教員が担当します。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語の発音の基礎を習得し、ピンインや四声について説明できる。</li> <li>・中国語の文法の基礎を習得し、簡単な文章を読むことができる。</li> <li>・中国語の基礎的な会話能力を習得し、中国の人と簡単な会話ができる。</li> <li>・中国語を通し、中国についての基礎的な理解を深め、日中友好に寄与できる。</li> </ul>					
授業外学修内容・授業外学修時間数	発音は、授業の時だけの練習ではなかなか身につけません。授業が終わった後、毎回自分でCDを聞き、声を出して反復練習し、学んだことを復習して下さい。発音の復習、テキストからの宿題を含め、この科目では15時間以上の授業外学修を行って下さい。					
授業計画	<p>【第1回】中国語ガイダンス（中国語とはどんな言葉か、テキスト・成績評価の確認）</p> <p>【第2回】発音①：声調について、母音（単母音）</p> <p>【第3回】発音②：子音・母音（複合母音）、「n」、「ng」をともなう母音（鼻母音）、「中国語音節表」、数字のかぞえ方</p> <p>【第4回】第1課 何を食べるの？ 本文、文法 人称代名詞、動詞述語文、疑問詞疑問文、省略疑問文</p> <p>【第5回】第1課 何を食べるの？ 練習問題</p> <p>【第6回】第2課 それって中国語の新聞？ 本文、文法 指示代詞、名詞の前の修飾語、動詞「是」の文、YES / NO で答える疑問文</p> <p>【第7回】第2課 それって中国語の新聞？ 練習問題</p> <p>【第8回】第3課 かわいい！ 本文、文法 形容詞述語文、主述述語文、「喜欢」、選択疑問文</p> <p>【第9回】第3課 かわいい！ 練習問題</p> <p>【第10回】第4課 何人家族？ 本文、文法 数量の数え方、動詞「有」の文、「几」と「多少」、助動詞「想」</p> <p>【第11回】第4課 何人家族？ 練習問題</p> <p>【第12回】第5課 家はどこ？ 本文、文法 方位詞、動詞「在」の文、介詞「在」、介詞「离」</p> <p>【第13回】第5課 家はどこ？ 練習問題</p> <p>【第14回】第6課 ごはん食べた？ 本文、文法、練習問題 連動文、介詞「跟」、助動詞「要」、文末の「了」</p> <p>【第15回】まとめと復習 発音の確認</p>					
成績評価の方法	小テストや授業における課題の取り組み（60点） 期末試験（40点）					
フィードバックの内容	宿題の添削、小テストの解説によってフィードバックを行います。					
教科書	『しっかり初級中国語』石田友美、桑野弘美ほか（白水社）2016					
指定図書						
参考書						
教員からのお知らせ	日本人が中国語を学ぶ際、漢字を使うので意味を想像しやすいという利点があります。しかし一方で、漢字に頼りすぎて「音」から理解することが疎かになり、会話がなかなか上達しないという傾向があります。そこで、ひとりひとりが正確に発音できるよう丁寧にチェックしますので、授業中はなるべく口を大きく開け、はっきりと発音するよう心がけて下さい。ただ授業に出席するだけでは評価しません。積極的に取り組むようにして下さい。授業はテキストに沿って行います。					
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。					
その他						